

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

ボレスター宇品アクリア

配慮項目	評価点	重み係数	内訳							
■1.「地球温暖化対策」の推進										
1.1 建物の熱負荷抑制										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 品確法の等級4の省エネ基準、窓部は複層ガラスとカーテンを標準設置。	3.0 3.0 5.0	0.13 0.21 0.65	Q1 室内環境 LR1 エネルギー	2 温熱環境 1 建物の熱負荷抑制	2.1 室温制御	3 外皮性能				
	小計	4.3	0.30							
1.2 自然エネルギーの利用										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 屋上に太陽熱温水器を設置し、共同浴場の給湯に利用。	3.0 3.0	0.50 0.50	LR1 エネルギー	2 自然エネルギー利用 2 自然エネルギー利用	2.1 自然エネルギーの直接利用 2.2 自然エネルギーの変換利用					
	小計	3.0	0.10							
1.3 設備システムの高効率化										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 燃焼系潜熱回収瞬間式給湯器の採用	5.0	1.00	LR1 エネルギー	3 設備システムの高効率化						
	小計	5.0	0.20							
1.4 設備システムの効率的運用										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0 3.0	0.00 0.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用 4 効率的運用	4.1 モニタリング 4.2 運用管理体制					
	小計	0.0	0.00							
1.5 資源・マテリアル対策										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 節水型便器や節湯水栓の採用。造作材に集成材を使用。	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 2.0 3.0	0.08 0.12 0.00 0.06 0.19 0.16 0.16 0.04 0.19	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護 1 水資源保護 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 2 非再生性資源の使用量削減 2 非再生性資源の使用量削減 2 非再生性資源の使用量削減 2 非再生性資源の使用量削減 2 非再生性資源の使用量削減 2 非再生性資源の使用量削減	1.1 節水 1.2 雨水利用・雑排水再利用 1.2 雨水利用・雑排水再利用 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建築躯体等の継続使用 2.3 駆体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					
	小計	3.0	0.29							
1.6 ライフサイクルCO2排出率										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	5.0	1.00	LR3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮						
	小計	5.0	0.12							
1.「地球温暖化対策」の推進の評価										
	4.0	0.70								
■2.「ヒートアイランド対策」の推進										
2.1 溫熱環境の向上										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 広島市緑化推進制度の緑化率の3.5倍の緑化面積を確保。	2.0 3.0 3.0	0.49 0.24 0.27	Q3 室外環境(敷地内) Q3 室外環境(敷地内) LR3 敷地外環境	1 生物環境の保全と創出 3 地域性・アメニティへの配慮 2 地域環境への配慮	3.2 敷地内温熱環境の向上 2.2 温熱環境悪化の改善					
	小計	2.5	0.96							
2.2 交通負荷抑制										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 住戸数の100%以上の駐車附着率に加え、カーシェアリングとレンタサイクルの採用により交通負荷を抑制。	5.0	1.00	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制 3 交通負荷抑制					
	小計	5.0	0.04							
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価										
	2.6	0.16								
■3.「長寿命化対策」の推進										
3.1 耐用性の向上										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0 3.0 5.0 5.0 2.0 3.0 5.0 3.0	0.47 0.12 0.09 0.09 0.04 0.03 0.06 0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性 2 耐用性・信頼性 2 耐用性・信頼性 2 耐用性・信頼性 2 耐用性・信頼性 2 耐用性・信頼性 2 耐用性・信頼性 2 耐用性・信頼性	2.1 部品・部材の耐用年数 2.1 部品・部材の耐用年数 2.2 部品・部材の耐用年数 2.2 部品・部材の耐用年数 2.2 部品・部材の耐用年数 2.2 部品・部材の耐用年数 2.2 部品・部材の耐用年数 2.2 部品・部材の耐用年数	1 耐震性 2 免進・制振性能 1 駆体材料の耐用年数 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 3 主要内装仕上げの更新必要間隔 4 空調換気ダクトの更新必要間隔 5 空調・給排水配管の更新必要間隔 6 主要設備機器の更新必要間隔				
	小計	3.5	0.47							
3.2 設備の更新性										
(コメント) ※設計の計画上特段に配慮した事項を記載してください。	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.17 0.17 0.11 0.11 0.22 0.22	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性 3 対応性・更新性 3 対応性・更新性 3 対応性・更新性 3 対応性・更新性 3 対応性・更新性 3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性 3.3 設備の更新性 3.3 設備の更新性 3.3 設備の更新性 3.3 設備の更新性 3.3 設備の更新性 3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性 2 給水配管の更新性 3 電気配線の更新性 4 通信配線の更新性 5 設備機器の更新性 6 バックアップスペース				
節水型機器の使用、事故に備えた給排水配管の系統区分けを実施。豪雨や高潮による浸水の被害に備えて、地下施設を避け、電気設備の設置場所をマウンドアップ。	小計	3.0	0.53							
3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)										
	3.2	0.14								
■重点項目の総平均(上記3項目)										
		3.7								